

で 出かけてみよう

あまがさき み い もの
● 尼崎で見られる生き物



ドクダミ

公園や庭などの湿った場所によく生える。夏に咲く白い花は独特なおいがある。



ヒガンバナ ◆ (秋)

田畑に多く、秋に赤色の花が咲く。花が枯れたあとに葉が出てくる。



ユキヤナギ ◆ (春)

公園に多く、春には垂れ下がった枝に白い花がたくさん咲く。



アラカシ ◆ (秋)

樹林環境を代表する種。秋には、たてじま模様の小さなどんぐりができる。



シラカシ

木材にすると白のが名前の由来。帽子に横じま模様があるどんぐりができる。



ヤマモモ ◆ (夏)

公園などにも植えられる。夏にできる赤い実は食べることができ、甘酸っぱい。



アカメガスワ

春に新しい若葉が赤いことが名前の由来。日の当たる場所に多い。



キンモクセイ ◆ (秋)

庭などにも多く、秋に咲くオレンジ色の花は強い香りがする。



ホトケノザ ◆ (春)

春に赤紫色の花が咲く。日当たりのいい場所では一面に広がることもある。



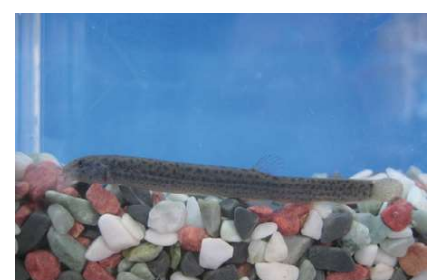
ニホンウナギ ● ◆

川と海を行き来する種。乱獲や河川の整備の影響などで数が減っている。



オイカワ

大きさ 15cm。繁殖期のオスは色鮮やかになる。川の流れの早いところを好む。



ドジョウ ● ◆

水辺でよく見られる種。大きさ 20cm ほど。口のまわりのヒゲは全部で 10本ある。

●：希少種

◆：つながり種

▲：外来種



カワラバト▲

大きさ 30cm ほど。よく目にする鳥。昔は伝書鳩としても使われていた。



ウグイス

大きさ 15cm ほど。「ホーホケキョ」とさえずり、冬は「チャッチャツ」と鳴く。



コゲラ◆

大きさ 15cm。河畔林でよく見られる種。日本で一番身近で、一番小さなキツツキ。



マガモ◆(冬)

大きさ 50-65cm。冬に渡って来る。オスの頭は緑色でメスは体全体が茶色い。



オオヨシキリ●◆(夏)

大きさ 17-19cm。ヨシ原でよく見られる種。夏に「ギョシギョシ」と鋭く鳴く。



アオサギ

大きさ 88-98cm。河川でよく見られる種。じっと立ってえものを待つか。



イソヒヨドリ◆

大きさ 23cm ほど。メスは灰色のまだら模様、オスは青と赤で鮮やか。



ハクセキレイ◆

大きさ 20cm ほど。水辺でよく見られる種。えさを探しながら速足で歩く。



カワウ

大きさ 80cm ほど。水に潜って魚をとる。川だけでなく、海や池にも現れる。



ナマズ●◆

水辺でよく見られる種。大きさ60cmほど。ひげは成長すると6本から4本になる。



ボラ◆(春)

河口・海でよく見られる種。大きさ50cmほど。大群になり川を遡ることがある。



カダヤシ▲

大きさ 30-50mm。メダカとは尾びれと尻びれの形のの違いで見分けられる。

あまがさき み い もの
● 尼崎で見られる生き物



ヒゲジロハサミムシ

大きさ 16-25mm。力が強く、ハサミを使ってえものをとらえて食べる。



トノサマバッタ◆ (夏・秋)

大きさ 35-65mm。河川敷や公園など明るい草地で見られる。羽音をたてて飛ぶ。



アブラゼミ◆ (夏)

大きさ 56-60mm。夏に「ジー」と鳴く。はねに色のあるセミは世界でも珍しい。



キマダラセセリ

大きさ 13-17mm。河川敷などにある草原を好み、花から花へ素早く飛び回る。



キタテハ

大きさ 22-34mm。はねを閉じると茶色く枯れ葉の中ではみつけにくい。



キアゲハ

大きさ 90mm ほど。アゲハより黄色く、幼虫もセリのなかまの葉を食べる。



カブトムシ◆ (夏)

大きさ 30-85mm。猪名川自然林でよく見られる種。オスには長いツノがある。



タマムシ◆

大きさ 30-40mm。夏の暑い時間に活動する。緑と赤の金属のような色が鮮やか。



アオイトトンボ

大きさ 34-48mm。成熟すると複眼は青くなり、体には白い粉がつく。



マツモムシ◆

大きさ 11-14mm。池などで見られる種。水面近くを背泳ぎで泳ぐ。



テナガエビ◆

藻川でよく見られる種。大きさ 90mm ほど。2本の長いあしが特長。



タイコウチ

大きさ 30-50mm。浅い池などで見られる種。かま状の前あしで魚などをとらえる。

●：希少種 ◆：つながり種 ▲：外来種



ニホントカゲ●

大きさ 16-25cm。自分で尻尾を切って逃げることがあり、尻尾はしばらく動く。



カヤネズミ●

大きさ 60mm ほど。ススキなどの葉で丸い巣を作る。日本で一番小さなネズミ。



ウシガエル▲

大きさ 11-18cm。夜行性で、「モーモー」と牛のような声で鳴くのが名前の由来。



ヌマガエル◆(夏)

大きさ 30-50mm。腹側は白い。水田を代表する種だが、畑や草原などにもいる。



ニホンイシガメ●◆(夏)

大きさ 14-20cm。水辺でよく見られる種。環境破壊などにより減少している。



ヌートリア▲

大きさ 40-60cm。農業や生態系への影響が問題になっている。泳ぐのが得意。



環境によって見られる生き物も違うんだね！
いろんな生き物を探して、調べてみようかな



希少種も外来種も
まずは知ることからはじめてみよう！



あまがさき しぜん
尼崎の自然ハンドブック

れいわ ねん がつ
令和 6年 3月

はっこう あまがさきし けいざいかんきょうきょく かんきょうぶ かんきょうそうぞうか
発行：尼崎市 経済環境局 環境部 環境創造課

TEL：06-6489-6301

FAX：06-6489-6300